

令和元年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	3	岡谷市やまびこ国際スケートセンター		
指定管理者	名称	(株) やまびこスケートの森		指定期間	H28. 4. 1~R3. 3. 31
料金形態	形態	指定管理料	指定管理料	75,997,000	円
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収、自主事業の実施				
施設担当課	スポーツ振興課				

1 施設担当課によるモニタリングの実績

○施設訪問

- 施設訪問の頻度

▼より選択

月に数回

- 施設訪問の際に行った内容

▼より選択

情報交換、意見交換	<input type="radio"/>
施設管理状況の確認	<input type="radio"/>
施設の安全点検（危険箇所の把握等）	<input type="radio"/>
業務指導、改善要求	<input type="radio"/>

○事業報告書

- 報告書の提出を求めている頻度

▼より選択

日報	月報	四半期報告書	年報（事業報告書）
×	○	×	○

●モニタリングの結果

- モニタリングで把握した課題

①管理棟屋根に錆や塗装の剥がれている箇所がある。 ②管理棟外壁に、浮きやクラック箇所がある。 ③リンク中央部分（テニスコート部分）やリンク回りのアスファルトに傷みがある。 ④冷凍機エンジンのオーバーホール修繕が必要な時期となっている。（前回H15.16実施、10年に一度オーバーホール修繕が必要。現在平成24年から8台実施済み。） ⑤入り口玄関付近に凹凸（レンガの崩れ）箇所がある。 ⑥危険滑走者に帽子や手袋等の非着用者がいる。 ⑦場内凍結箇所（リンク内側、連絡地下通路等）への早期対応。 ⑧利用者増加へ向けた取り組み。

- 指定管理者に対して業務指導、改善要求を行った内容

①指定管理者による定期的な経過観察。 ②指定管理者による定期的な経過観察。 ③指定管理者による定期的な経過観察。 ④定期点検の実施。 ⑤修繕を指示。 ⑥館内放送での注意喚起、リンク内及びリンク外（トレーニングルーム等）から監視の実施。 ⑦凍結防止剤の散布指示、転倒防止のための敷物の設置。 ⑧小学生のスケート人口の拡大に向けて検討を指示。
--

- 業務指導、改善要求への対応状況

▼より選択

内容	チェック
指定管理者は、市の指導と監督に従い、速やかに指摘事項を是正、改善した。	<input type="radio"/>

2 施設担当課としての評価

○ 実績評価

- ・ 事業報告書各項目の採点 (70点)

事業計画の項目	指定管理者	市の評価	評価に対する事項
基本方針	5	4	基本方針に沿った管理運営がされている。
経費縮減	3	3	燃料費が高騰する中で、水道光熱費等の削減できる項目への取り組みがなされている
職員の配置	4	4	リンクの監視員を適正配置し、利用者の安全確保に努められている。
有資格者等の配置	5	5	適正に配置されている。
職員研修の実施	4	4	概ね実施計画に基づいて実施されている。
施設の維持管理	4	4	施設が老朽化している中、安定的な管理運営がされている。
住民の平等利用の確保対策	4	4	利用者へ施設利用に公平性を欠くことのないよう対応している。
サービス向上対策	4	4	ライブカメラ、スケートマスター貸出など工夫を凝らした運営がされている。
利用者の要望の把握及びその実現対策	3	3	利用者のニーズを把握し、概ね実現対策が図られている。
自主事業の実施	4	4	フリーマーケットや大会の開催など、利用者の増加に向けた取り組みがなされている。
地域、他施設との連携	4	4	塩尻市の市民への補助適用など、地域との連携が図られている
施設の運営	4	4	目標を達成することは出来なかったが、安定的な運営に努めている。
個人情報保護に向けた取り組み	5	4	適正に取り組まれている。
防犯、防災の対応 その他、緊急時の対応	3	3	適正に対応されている。
合計	56	54	

※各評価に対する事項については、特記すべき点を記載（採点「5」及び「1」については、必ず評価に対する事項を要す）すること。

採点	評価基準
5	管理運営業務が要求水準、事業計画を上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を確保した。
4	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり又はやや上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を行った。
3	概ね要求水準、事業計画のとおり管理運営を行った。
2	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり行われており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供が提供されることが見込まれるものの、一部遅滞や不履行がみられ、簡易な改善を要する。
1	管理運営業務が要求水準、事業計画を下回るなど、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供に改善が図られず、次年度に早急な改善等を図る必要がある。

・ 出納状況 (4点)

出納状況	はい	いいえ
決算について、各項目の収入額は適正である。	1	
〃、各項目の支出額は適正である。	1	
〃、必要な業務を行わずに余剰金が生じた項目はない。	1	
指定管理経費は、法人本体の経理とは明確に区別して管理された。 複数施設を一括管理している場合、1施設ごとに予算、決算が示された。	1	
合計点		4

・ 事務事業評価 (10点)

↑増、↓減、→現状維持

▼より選択

施設の利用状況	チェック	採点
施設稼働率	→	1
年間利用者数、件数	↓	0
1日あたり利用者数、件数	↓	0
施設使用料年間収入額	↓	0
活動一単位あたりコスト	↓	0
合計点		1

有効性評価	高い
-------	----

増	: 2点
維持	: 1点
減	: 0点

・ 評価する事項

・ これまで培ってきた専門的な知識やノウハウを活かす中で、岡谷市のスケート振興の中心的役割を担うとともに、安定的な施設の管理運営に努めた。
 ・ 施設の老朽化や、原油価格の高騰に伴う燃料費の負担が増える中、電気料金のデマンド監視や施設の効率的な管理運営により、水道光熱費等の経費縮減に努めた。
 ・ リンク監視員を適正配置し、施設利用者の安全確保に努めるとともに、利用者の公平性の確保にも努めた。また初心者向けの補助具(スケートマスター)の貸し出しをファミリースケートデー以外にも土日祝祭日に実施し、利用者のサービス向上に努めた。
 ・ 塩尻市による小中学生滑走料負担制度により、施設利用者の増加を図るとともに、地域のスケート振興に努めた。
 ・ ファミリースケートデーや自主事業の大会をはじめとする各種イベントを開催し、利用者の増加や市民のスケート振興を図った。

・ 改善が必要だと考える事項

・ 少子化や社会情勢の変化に伴い、スケート人口が減少している中、各種イベントや自主事業の充実を目指し、また関係団体等との連携を更に高め、スケート振興及び底辺拡大に努める必要がある。
 ・ 施設の老朽化に伴い、日々の細やかな点検業務を実施し修繕箇所を早期発見に努め、小規模修繕による対応を促進し、施設維持管理経費の削減を図る必要がある。

・ 事業計画書の提案事項のうち未実施の項目

未実施の項目	特になし
未実施の理由	

・ 3つの選定基準による評価 (16点)

▼より選択

3つの選定基準	評価項目	評価	点数
1 平等利用の確保	利用者ニーズへの対応の積極性、苦情処理の充実度	高い	2
	平等利用の確保対策の充実度	高い	2
2 施設の有効利用及び経費の節減	施設利用状況の向上度 (利用者数・件数、使用料収入)	普通	1
	岡谷市のまちづくりに対する貢献度	高い	2
	経営ノウハウの活用度	普通	1
	管理・運営コストの抑制度	高い	2
3 管理の安定性	管理・運営体制の安定度	高い	2
	施設・設備の安全度、安全確保対策の充実度	高い	2
		合計点	14

●総合評価

特に優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	適正な管理運営が行われており、更なる向上が求められる	管理、運営方法の改善が必要である	管理、運営方法の抜本的な改善が必要である
90点以上	89-70点	69-50点	49-30点	29点以下
S	A	B	C	D
	○			

令和元年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	3	岡谷市やまびこ国際スケートセンター	
指定管理者	名称	(株) やまびこスケートの森	指定期間	H28. 4. 1~R3. 3. 31
料金形態	形態	指定管理料	指定管理料	75,997,000 円
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収、自主事業の実施			
施設担当課	スポーツ振興課			

1 施設の利用状況

*①は貸館施設のみ対象 *②・③はどちらかの欄に記入 *

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数(日)	88	87	86	86
1日の開設時間(時間)	13	13	13	13
年間利用可能時間(時間)	1,144	1,131	1,118	1,118
年間利用実績(時間)	1,144	1,131	1,118	
② 年間利用者数(人)	26,238	26,574	24,365	24,365
有料利用者数	12,731	13,656	11,527	11,527
無料利用者数	11,289	10,799	10,512	10,512
減免措置者数	2,218	2,119	2,326	2,326
③ 年間利用件数(件)	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	298.2	305.4	283.3	283.3
⑤ 施設利用状況の説明				

2 コストの推移

* この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

[単位: 円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	85,362,350	85,362,350	84,477,489	84,481,000
経常経費	79,677,230	81,513,241	80,379,969	80,381,000
臨時的経費	5,685,120	4,097,520	4,097,520	4,100,000
* 臨時的経費の説明	冷凍機エンジン修繕			
② 人件費	640,000	640,000	640,000	640,000
正規職員の人数(人)	0.08	0.08	0.08	0.08
③ 合計コスト(①+②)	86,002,350	86,002,350	85,117,489	85,121,000
前年度比		100.0%	99.0%	100.0%
財源内訳				
一般財源	78,149,047	78,099,151	77,830,199	75,087,000
特定財源	7,853,303	7,903,199	7,287,290	10,034,000
* 特定財源の説明	施設使用料、財産使用料			
④ 施設使用料年間収入額	6,694,335	6,773,175	6,127,890	8,884,000
⑤ 年間減免措置額	823,960	1,191,180	841,720	841,720
⑥ 受益者負担割合	8.8%	9.3%	8.3%	11.5%
⑦ 活動一単位あたりコスト	3,061	3,091	3,325	
前年度比		101.0%	107.6%	
⑧ コストに関する補足説明				

3 大規模修繕の予定

予定事業費	円	予定時期
内容		

4 施設の維持管理コスト

1 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
需用費		4,097,520	4,097,520	冷凍機エンジン修繕
役員費	243,939		243,939	保険料
委託料	75,997,000		75,997,000	指定管理料
使用料及び賃借料	4,139,030		4,139,030	土地借上料
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	80,379,969	4,097,520	84,477,489	

2 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.08		0.08
合計	640,000	0	640,000

人
円

3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
施設使用料	6,127,890		6,127,890	施設使用料
財産使用料	1,159,400		1,159,400	トレーニングルーム等
			0	
			0	
			0	
合計	7,287,290	0	7,287,290	

4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	73,732,679	4,097,520	77,830,199